

大阪国際サイエンスクラブ

特別懇談会（講演会）

International
Science Club
of Osaka

「南海トラフ巨大地震最新情勢」

<主催：大阪国際サイエンスクラブ・(一財)大阪科学技術センター>

南海トラフ地震は、駿河湾から日向灘沖までの南海トラフ沿いのプレート境界で、概ね100～150年間隔で繰り返し発生してきた大規模地震です。一番近い地震は戦時中の1944年に「昭和東南海地震」が起き、その2年後に「昭和南海地震」が起きました。それから77年経っています。東海エリアにおいては江戸時代の1854年の安政東海地震から169年間も起きていません。いつ発生してもおかしくないとされる南海トラフ巨大地震。その被害は、四国や近畿、東海などの広域に及び、東日本大震災を大きく上回ると考えられています。

2023年4月、南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループが立ち上がり、2012年に国により公表された被害想定の見直しが進められています。今回の講演会では、そのWGで主査を務められている福和伸夫先生から最新情勢を含めて話題提供して頂き、巨大災害にどのように備えるのか、また事業継続と早期復旧の具体的計画策定の重要性について、会員の皆さんと一緒に再度考えたいと思います。

なお、今回は大阪科学技術センタービル会議室にてご講演頂きますが、Zoomを活用したオンラインでのご聴講も可能とします。皆様のご参加をお待ちしています。

記

- 日時：2023年12月5日（火） 15:00～16:30
- 場所：大阪科学技術センタービル8階中ホール
- 講師：福和 伸夫 様
 （名古屋大学名誉教授
 あいち・なごや強靱化共創センター・センター長
 南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループ主査）
- テーマ：「南海トラフ巨大地震最新情勢」
- 参加費：無料
- 申込み方法：申込書欄に必要事項をご記入の上、11月27日(月)までにe-mailでお申し込み下さい。
 また、同内容をFAXでお送り頂いても結構です。

講師ご紹介

福和伸夫（ふくわのぶお／FUKUWA Nobuo）

1997年 名古屋大学先端技術共同研究センター 教授
 2001年 同大学院環境学研究科 教授
 2012年 同減災連携研究センター 教授、環境学研究科を兼務
 2012年 同減災連携研究センター センター長（～2021）
 2017年 日本地震工学会 会長（～2019年）
 2017年～ あいち・なごや強靱化共創センター センター長
 2022年 名古屋大学 名誉教授
 2023年～ 中央防災会議南海トラフ地震対策 WG 主査

著書：

「次の震災について本当のことを話してみよう」（時事通信社）
 「必ずくる震災で日本を終わらせないために」（時事通信社）
 「耐震工学～教養から基礎・応用へ～」（講談社）



e-mail: science@isco. gr. jp

または、FAX：06-6441-0459 大阪国際サイエンスクラブ宛)

特別懇談会「南海トラフ巨大地震最新情勢」

どちらかに○をつけて下さい。

- ・ 会議室での聴講
- ・ Zoom による聴講

氏名・団体名：

所在地：〒

TEL：() — FAX：() —

e-mail：

氏 名	所 属 ・ 役 職	e-mail

※ご連絡頂いた個人情報は、本事業のご案内及び当クラブに関連する講演会・見学会等のご案内以外には使用致しません。

■大阪方面よりお越しの場合

- ▶ 地下鉄四つ橋線「本町」駅下車
28番出口より北へ徒歩3分

■新大阪方面よりお越しの場合

- ▶ 地下鉄御堂筋線「本町」駅下車
2番出口より西へ徒歩7分

■なんば方面よりお越しの場合

- ▶ 地下鉄四つ橋線「本町」駅下車
28番出口より北へ徒歩3分
- ▶ 地下鉄御堂筋線「本町」駅下車
2番出口より西へ徒歩7分

